

STUDY ON BIOCHEMICAL AND PHYSICOCHEMICAL TREATMENTS OF CARBONACEOUS MATTER FOR THE IMPROVEMENT OF GOLD CYANIDATION FROM DOUBLE REFRACTORY GOLD ORES

シンディ

<https://hdl.handle.net/2324/7396240>

出版情報 : Kyushu University, 2025, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	CINDY (シンディ)			
論 文 名	STUDY ON BIOCHEMICAL AND PHYSICOCHEMICAL TREATMENTS OF CARBONACEOUS MATTER FOR THE IMPROVEMENT OF GOLD CYANIDATION FROM DOUBLE REFRACTORY GOLD ORES (超難処理金鉱石からの金のシアン化の向上に向けた炭素質物質の生化学的および物理化学的処理に関する研究)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	沖部 奈緒子
	副 査	九州大学	教授	菅井 裕一
	副 査	九州大学	准教授	一瀬 博文
	副 査	早稲田大学	教授	笹木 圭子

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究では、従来の金回収プロセスにおける重要な技術的課題である超難処理性金鉱石の前処理に対して、酵素酸化法および界面活性剤による表面改質法の有効性を比較検討し、金の浸出効率向上と環境負荷の低減を両立するための技術的基盤を構築したものである。持続可能かつ高効率な鉱物資源処理技術の開発に資する成果であり、資源環境工学分野における学術的・実用的意義は極めて大きい。したがって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。